

2022年度 事業報告

社会福祉法人 平成福社会

1. 2022年度 事業報告の概要

- 業績等
 - 収益
 - 全体の収益は前年度比1.1%の増収
 - 富洲原デイサービス・訪問介護・ショートの収益の増加
 - 稼働率
 - コロナウイルス感染症の影響は職員の感染予防の努力により、安定した稼働率を維持できた。
 - 通所系サービスは、富洲原で前年度より稼働率アップ。垂坂は高い稼働率で維持できた。
 - 訪問系サービスでは職員を増員し、年間約400件の支援増加
 - 複合型サービスの登録人数の引き上げ（25名→29名）
 - 収支改善
 - 人員配置の適正化、業務の効率化の実施
- サービスの質
 - 利用者最優先で、個々の技術面のみならずチームとして高品質な介護サービスの提供体制の推進
 - QOLとADLの維持向上を目的とした余暇活動の企画、実施の継続
 - 職員全員で感染防止対策に努め、感染拡大を引き起こすことなく各サービスを利用して頂くことができた。
 - 特養ではコロナ禍で面会を制限する中、オンライン面会やお写真の同封、ガラス越しでの面会を行うなどご家族様に安心して頂ける対応を実施した。
- 人材の確保、育成
 - グループ内の事業所間での異動による人員配置の適正化
 - 研修の実施
 - 新人職員に対する研修体制の強化
 - 職種、経験や個人の特性に即した研修の実施

- キャリアパス制度の整備など人事管理、制度の適正化
- 介護プロフェッショナルキャリア段位制度のアセッサー資格を持つ職員の複数育成
- 介護職員の育成への強化

- 法人、グループ内の連携
 - 相互に連携、協力体制をもち、ノウハウなどの利点を最大限に生かす。
 - 勉強会、技術交流や情報共有の実施

- 地域貢献活動
 - 新型コロナウイルスの影響により地域行事への参加は未実施。
 - 事業所、法人として地域に根差した福祉サービスの提供を継続

- 新型コロナウイルスへの対応
 - 標準予防策、環境整備など感染対策の徹底
 - 入居者へのワクチン接種
 - コロナ罹患後の利用者の受け入れ体制

- 新型コロナウイルス感染症に関する補助金
 - 新型コロナ緊急包括支援交付金

- 物価高騰・水光熱費高騰に関する補助金
 - 物価高騰対策緊急支援金

2. 運営状況（稼働率、利用者数）

※（ ）の数値は対前年度の増減

高齢者事業

- 特養（稼働率）

事業所名	2021年度	2022年度
ヴィラ四日市 ユニット型（入所）【80名】	99.9%	98.8%（▲1.1%）
（ショート）【30名】	88.7%	90.4%（+1.7%）

- 通所介護（稼働率）

事業所名	2021年度	2022年度
ヴィラ四日市通所介護センター【43名】	96.9%	94.6%（-2.3%）
富洲原通所介護センター【30名】	73.4%	80.1%（+6.7%）

- 訪問介護（延べ人数）

事業所名	2021年度	2022年度
ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター	3,318名	3,732名（+414名）

- 小規模・看護小規模（登録率）

事業所名	2021年度	2022年度
富洲原複合型サービスセンター【25名⇒29名】	92.0%	84.1%（▲7.9%）

- 居宅（ケアプラン数）

事業所名	2021年度	2022年度
ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター	2,438名	2,328名（▲110名）

2022年度 事業報告

社会福祉法人 平成福社会

対象事業所

高齢者事業

富洲原通所介護センター（通所介護）【定員：30名】

富洲原複合型サービスセンター（看護小規模）【登録定員：29名】

高齢者事業

富洲原通所介護センター（通所介護）【定員：30名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 全体の収益は前年度比で12.3%増収
 - 稼働率が3.1%増加
 - 加算による単価の増加
 - 稼働率
 - 稼働率は昨年より6.7%増加し80.1%
 - コロナウイルス感染への不安で利用者が自主的に休むケースが相次いだ。
 - 収支改善
 - 稼働状況に合わせ職員の異動を行う等、職員の適正配置に努めた。
 - 営業強化のため専任の管理者を配置。
 - 在介との密な連携
 - サービスの質
 - コロナウイルスが蔓延する中で感染防止対策に努め、クラスターを起こすことなく営業できた。
 - 感染予防に留意しながら、食レクを強化した。
 - 富洲原にて調理を開始し、出来たての食事の提供を開始した。
 - 外部研修への参加は減少したが、WEB等を使用し職員の研修等の充実を図った。
 - 人材の確保、育成
 - 法人内の事業所間での異動による人員配置の適正化
 - 外部研修への参加は減少したが、WEB等を使用し職員の研修を行った。

主な指標

- デイサービス

	2021年度	2022年度
稼働率	73.4%	80.1% (+6.7%)
平均要介護度	1.3	1.3 (±0)
単価 (人・日)	7,888円	8,111円 (+223円)

富洲原複合型サービスセンター（看護小規模）【登録定員：29名】

- 事業計画の概要
 - 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 全体の収益は前年度比で0.1%減収
 - 宿泊サービスの利用日数が減少し月単価が減少
 - 登録率
 - 登録数平均は前年度と変わらず
 - 9月に登録人数を29人に引き上げ
 - 稼働率 84.1%
 - 収支改善
 - 新規者獲得のための営業回数の増加
 - 職員の増員で登録人数の増加への準備を実施
 - サービスの質
 - 医療連携
 - 医療連携に力を入れ、近隣クリニックとの連携体制の継続。
 - 訪問看護を強化するため、看護職員に向けての研修の実施。
 - 理学療法士の配置で訪問リハビリも可能
 - センター内でのリハビリも充実
 - 人材の確保、育成
 - 研修会
 - 個々の希望に沿った研修会への参加
 - 資格取得への取り組み
 - 介護職の不足
 - 1月に補充を行ったが、増員に至らず

- 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2021年度	2022年度
登録率	92.0%	84.1% (▲7.9%)
平均要介護度	1.6	1.6 (±0)
単価 (人・月)	217,737円	214,056円 (▲3,681円)

2022年度 事業報告

社会福祉法人 平成福社会

対象事業所

高齢者事業

- ヴィラ四日市（ユニット型-特養）【定員：入所-80名 ショート-30名】
 - ヴィラ四日市通所介護センター（通所介護）【定員：43名】
 - ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター（訪問介護）
 - ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター（居宅）
-

高齢者事業

ヴィラ四日市（ユニット型-特養）【定員：入所-80名 ショート-30名】

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 特養
 - 全体の収益は前年度比で0.8%減収
 - 介護度の低下
 - 稼働率の低下
 - 単価微増
 - 介護職員等ベースアップ等支援加算の新規算定
 - LIFE関連の新規算定
 - ショート
 - 全体の収益は前年度比で3.4%増収
 - 稼働率の維持
 - 単価アップ
 - 介護職員等ベースアップ等支援加算の新規算定
 - サービス提供体制強化加算の単位数の増加
 - 稼働率
 - 特養
 - 前年と比べ稼働率は低下したが、コロナ禍にあっても一定の稼働率は維持ができた。
 - ショート
 - 稼働率は1.7%上昇し90.4%
 - 収支改善
 - 特養
 - 重度者を優先的に入所へ移行
 - ショート
 - 定期的な営業により稼働率が上昇
 - サービスの質
 - 新型コロナウイルスが蔓延する中で感染防止対策に努め、職員から利用者様へ感染させることなく利用して頂くことができました。
 - 感染症以外の災害にも目を向け、実地訓練を実施した。
 - 利用者最優先で、個々の技術面のみならずチームとして高品質な介護サー

ビスの提供体制の推進

- コロナ禍で実施しにくくなった行事が多い中、感染対策を万全にしながら入居者様が楽しめる催しを実施した。
- WEB研修の活用で多くの職員に研修を受講させることができた。
- 排泄、入浴、食事介助支援の統一を図るための研修（WEB）を受講し各ユニットにフィードバックすることで支援の質の向上を図ることができた。
- 施設での看取りを希望する入居者様や家族に寄り添う介護、看護を実施した。

○ 感染対策

- コロナウイルス感染症対策マニュアルの作成及び修正
- コロナウイルス感染症に対応したゾーニングやPPEなど実技研修の実施
- 職員がコロナ陽性となった場合や濃厚接触者となった場合は隔離などで予防策を実施し症状観察の強化や職員の意識を高めることで感染の拡大防止に努めた。
- インフルエンザの感染予防に努めた。

○ 人材の確保、育成

- グループ研修への参加で介護技術の向上を図った。
- 特定技能外国人の採用。
- 認知症介護基礎研修への参加。
- 介護職員の確保に苦戦した。

● 主な指標

○ 入所

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2021年度	2022年度
稼働率	99.9%	98.8% (▲1.1%)
平均要介護度	4.1	4.0 (▲0.1)
単価 (人・日)	14,651円	14,667円 (+16円)

○ ショート

	2021年度	2022年度
稼働率	88.7%	90.4% (+1.7%)
平均要介護度	3.0	3.0 (±0)
単価 (人・日)	13,663円	13,951円 (+288円)

ヴィラ四日市通所介護センター（通所介護）【定員：43名】

- 事業報告の概要

- 業績等

- 収益

- 全体の収益はほぼ前年度と変わらず。
- 定員の増員（40名～43名 令和4年2月から）
- 加算による単価も増加したことが増収
- LIFE関連の新規算定

- 稼働率

- コロナ禍にあっても90%以上の稼働率を維持できた。
- 8月から9月のクラスターが稼働率低下に影響
- 1月の感染性胃腸炎まん延による稼働率低下（2.3%減少）

- サービスの質

- 利用者の特技を生かしたレクリエーションの実施
- 季節行事の再開
- ケアマネジャーへの適度な報告
- コロナウイルス感染症の予防策を徹底して研修

- その他

- 施設の建替えによりデイフロアーも特養内の一角に移動し営業開始

- 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2021年度	2022年度
稼働率	96.9%	94.6%（▲2.3%）
平均要介護度	1.2	1.1（▲0.1）
単価（人・日）	7,902円	7,841円（▲61円）

ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター（訪問介護）

- 事業報告の概要
 - 業績等
 - 収益
 - 全体の収益は前年度比で13.4%増収
 - 身体介護の支援増加により単価もあがったことが増収の要因
 - 利用者数
 - 利用延べ人数が12.4%増加
 - 収支改善
 - サービス提供回数の増加
 - 身体介護支援回数の増加
 - サービスの質
 - コロナウイルスが蔓延する中で感染防止対策に努め、利用者様に感染させることな利用して頂くことができた。
 - 個々の技術面だけでなく、事業所としての介護サービスの提供体制の構築
 - 日曜日の支援の増加
 - 毎月の施設研修を充実させることでスキルアップを図った。
 - 看取り支援の受入れにより、幅広い支援の実施ができた。
 - 人材の確保、育成
 - ヘルパー1名の増員
 - WEB等を使用しヘルパー全員に介護技術向上のための研修を実施。
 - その他
 - コロナウイルス拡大による影響も最小限に留めることができた。
 - ヘルパー2名怪我で休職

- 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2021年度	2022年度
延べ人数（1月平均）	3,318名	3,732名（+414名）
平均要介護度	2.4	2.0（▲0.4）
単価（人・日）	3,573円	3,610円（+37円）

ヴィラ四日市在宅介護サービスセンター（居宅）

- 事業報告の概要

- 業績等

- 収益

- 全体の収益は前年度比で2.9%減収。

- 稼働率

- プラン件数4.5%減少

- 収支改善

- 営業回数を増やす

-

- サービスの質

- コロナウイルスの感染防止対策に努めた。

- 地域のコロナウイルス感染の状況に合わせ、対応することができた。

- コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、訪問相談、電話相談と臨機応変に対応することができた。

- WEB等を使用した研修への参加。

- 主任ケアマネ研修への参加

- 人材の確保、育成。

- 退職者なく人員の確保が実施できた。

- 地域の居宅支援事業所と連携し研修会等実施。

- 主任ケアマネ3名体制

- WEB等を使用した研修会に参加。

- 主な指標

※（ ）の数値は対前年度の増減

	2021年度	2022年度
ケアプラン数（月平均）	2,438名	2,328名（▲110名）
ケアマネ1人あたりのケアプラン数	41.1	40.4（▲0.7）
単価（人・月）	14,253円	14,491円（+238円）